

なぜ、
企業版2度目標（SBT）
再エネ100%目標（RE100）
なのか？

平成29年11月29日
環境省 地球温暖化対策課
飯野 暁

環境省による目標設定や排出量算定の支援

- 環境省は、企業版 2 度目標の策定、サプライチェーン排出量の算定に対し、情報提供・助言・作業支援を実施。
- 70社が参加
うち、53社と個別面談を実施。
- 平成30年度も継続実施方針
(予算要求中。来年からRE100も)

環境省 企業版 2℃目標（SBT）策定支援事業

参加企業63社一覧 製造業

化学：花王、積水化学工業、日産化学工業、日東電工、
日本ゼオン、ファンケル、富士フイルムホールディングス、三菱ガス化学

食料品：味の素、コカ・コーラ ボトラーズジャパン、ニチレイ

医薬品：アステラス製薬、大塚製薬（大塚HD）、塩野義製薬

機械：グローリー、ジェイテクト、ダイキン工業、ダイフク、日立建機

ガラス・土石製品：旭硝子

非鉄金属：フジクラ、古河電気工業、YKK

電気機器：ウシオ電機、オムロン、京セラ、シスメックス、東芝、
日本電気、三菱電機、明電舎

輸送用機器：スズキ、テイ・エス テック、豊田合成、豊田自動織機、
マツダ、三菱自動車工業

印刷：サンメッセ、大日本印刷、凸版印刷

ゴム製品：住友ゴム工業、横浜ゴム

その他製品：コクヨ、アシックス

環境省 企業版 2℃目標（SBT）策定支援事業

参加企業63社一覧 **非製造業**

建設業：大林組、鹿島建設、住友林業、積水ハウス、大成建設、大東建託、大和ハウス工業

陸運業：日本通運

海運業：日本郵船

情報・通信：NTTドコモ、野村総合研究所

小売業：丸井グループ、アスクル

保険業：MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス、SOMPOホールディングス

その他金融業：日立キャピタル

不動産業：東急不動産ホールディングス

サービス業：セコム、ベネッセコーポレーション

詳しくは、環境省ホームページ

「グリーン・バリューチェーン プラットフォーム」

をご覧ください。

環境省 GVC

検索



https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/index.html

なぜ、環境省は、
企業版 2 度目標の設定を、
支援しているのか？

①気候変動は、
ビジネス上のリスクだから

気候変動のビジネスへの影響 (J-CLP提供)

早魃や洪水で **年間約€4億**
(約450億円) の被害

ユニリーバ



北海道の台風被害で
主力商品を販売休止
スナック大手企業



新設石炭発電所の**簿価が1年で半減**
(€15億から€7億へ。建設費は€17億)

欧州電力会社 Uniper

出典: 2017年4月11日 毎日新聞電子版 環境省 Cool Choice TV「地球温暖化は北海道でも顕在化!? 到来し始めた大型台風」

写真: The TALEY Group 2016年5月18日 BBC News <http://www.bbc.com/news/business-32740359>、米研究機関「エネルギー・経済・財務分析研究所」(IEEFA)「The Dutch Coal Mistake」(2016)

②CO2リスクへの対応は、
経営上のチャンスでもあるから

**SBTをきっかけに、
生産性向上や高付加価値化を進めてほしい。**

- SBTは生産性向上の評価指標になる。

省エネ

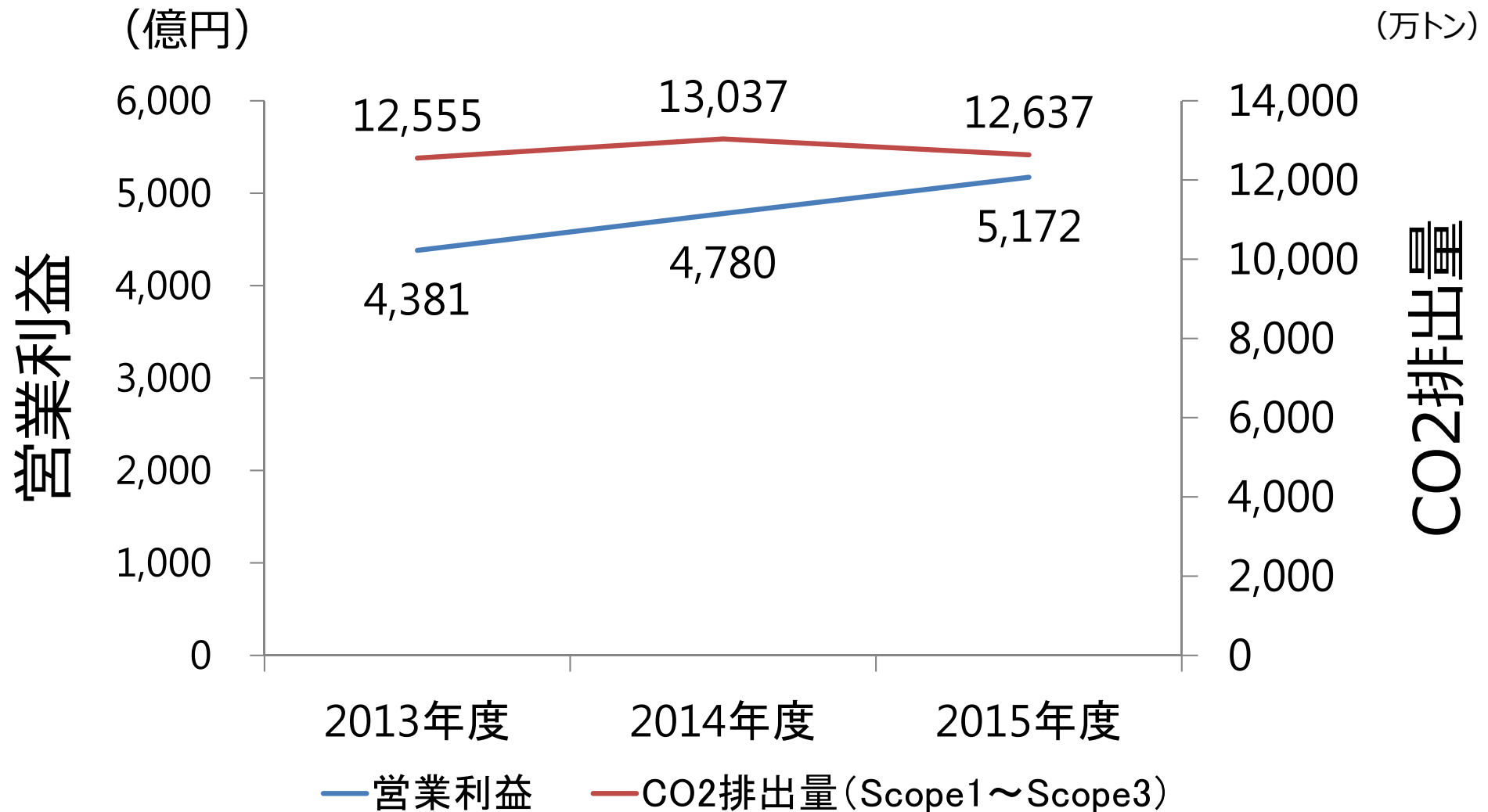
働き方改革

技術イノベーション

- 製品やサービスを高付加価値化する。

ブリヂストン社の営業利益とCO2排出量

- タイヤの製造・販売を中心に、その他関連製品販売・ソリューション事業を展開。
- CO₂排出量を同一水準に保ちながら営業利益を向上（炭素生産性が向上）。



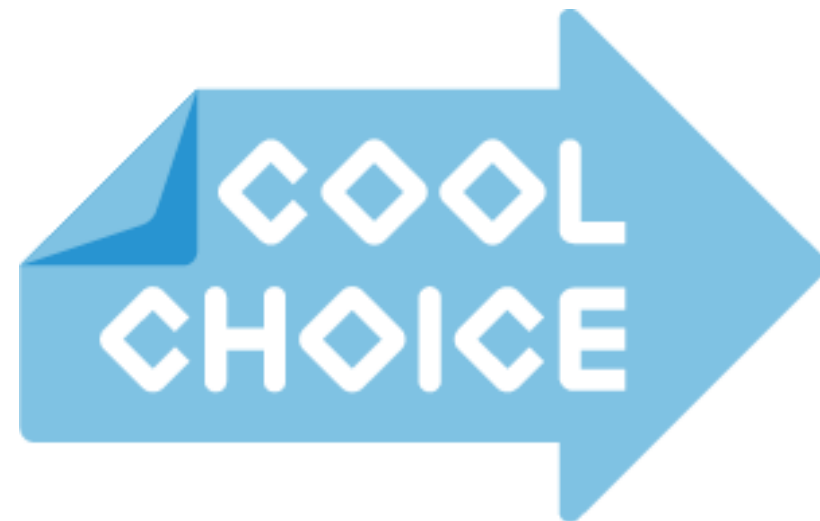
「COOL CHOICE」の賛同募集について

「COOL CHOICE」に賛同された個人・団体の方は、低炭素型の「製品」「サービス」「ライフスタイル」にロゴマークをダウンロードできます。
公式サイトで賛同を受け付けていますので、皆様も是非ご賛同ください！

2030年度△26%目標達成のための

【旗印】

低炭素型の製品／サービス／ライフスタイルなど
あらゆる「賢い選択」を促す国民運動



【参考：2017年8月現在の賛同状況】

個人賛同者 約320万人

賛同団体 約1万2千団体（賛同自治体 約500自治体）

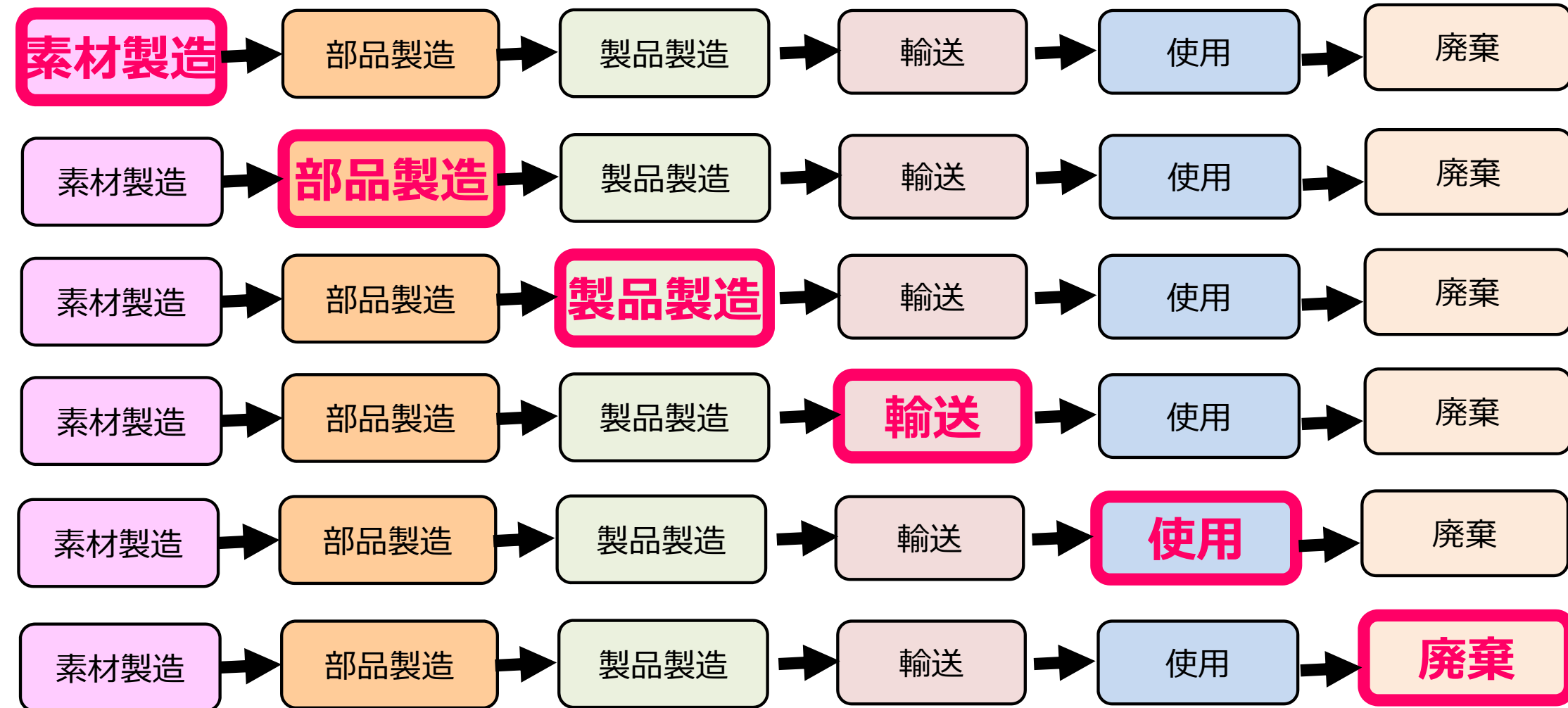
【賛同目標】

- ・2017年度の個人賛同者を**300万人**、賛同団体**16万団体**
- ・2020年度までに個人賛同者を**600万人**、賛同団体**40万団体**

③CO₂は、
グローバルの
サプライチェーンで
排出されているから

SBTの対象は、グローバル&業種横断

- サプライチェーンで考えれば、あるCO2排出〇〇トンについて、排出削減にかかわれる主体が何倍にも増える



今年度から開始した
環境省の企業版2度目標支援
の実施状況はどんな状況か？

環境省 企業版2度目標設定支援事業 現時点での実施状況

- 削減目標の計算については、一部のセクターを除き手法が確立されているため、おおむね問題なし。
- 企業によっては、
 - 気候変動が、どのように経営上のリスク・機会になるのか、その関連性の分析をすること
 - 実現できそうなものという手ごたえをもつことに苦労している状況。
(これらが、経営層の理解を得るポイント)

参加企業のこれまでの感想コメント

● SBT設定のモチベーション・経緯・背景

- ✓ 中期経営計画発表にあわせて削減目標も公表。
- ✓ イノベーションしつつける、世の中の社会課題に対応しつつけるという姿勢を示すもの
- ✓ 今後は投資を必要とする環境対策が増えるので、その社内説得の定量的な論拠としてSBTを活用。
- ✓ 環境に良いことは、顧客サービス向上になる。
商品の電子化により、利便性が高まるし、省エネ。

参加企業のこれまでの感想コメント

● SBT設定の内外からのプレッシャー

- ✓ 業界内で上位という自負があるので、●●社がSBTの認定を得ている状況を、経営トップも無視できない。
- ✓ 役員報酬の中長期業績連動で、サステナビリティ評価が加味されるようになった。
- ✓ CDP評価の影響力の大きさを痛感している。
- ✓ シェアの大い●●業界から●●用●●の製造における排出量を下げることを求められている。他者との競合もあるので、サプライチェーン上のビジネスリスクが大きい。
- ✓ IR部門から、「機関投資家の半数が海外の投資家であり、削減目標を何故作らないのか」と問われた。

参加企業のこれまでの感想コメント

● 設定と実践に向けた課題、工夫

- ✓ なぜその目標なのか、経営方針、経営計画、事業に結び付けたストーリーが必要。ビジネスについての将来のリスクと機会がつかめるよう、社会の環境分野の将来像を示す青写真がほしい。
- ✓ 削減策と根拠が伴った数値目標にしたい。
- ✓ 自社の社員にも訴求できるようなものにしたい。
- ✓ 設定前の省エネ対策の成果は含められないのでなかなか難しいが、子会社や、再エネの低価格化が進む海外拠点は、削減余地は大きいと判明。

参加企業のこれまでの感想コメント

●一社の努力だけではできない、企業間連携や社会全体の変革が必要

- ✓ 2℃目標達成は一社だけの削減努力だけではなく、企業が協同して排出量を減らしていく必要がある。
- ✓ 削減の肝になるのが●●● （省エネ製品）が政府目標の●●%まで普及できるのかどうか（消費者の消費行動の変化も重要）
- ✓ 技術革新、電力会社の係数の変化、再エネ調達環境の変化、カーボンプライシング等を想定。カーボンプライシングがかけられれば、十分な投資効果が得られる。

参加企業のこれまでの感想コメント

●再エネ電力

- ✓ 製造プロセスでの省エネ対策は限界に近く、製造プロセスの周囲の対策（自家発電、再エネ導入）が必要。
- ✓ ロケーションベース、マーケットベースどちらかに一本化する必要がある。再エネ電力購入の効果を活かすのであれば、マーケットベースの方が良いと考える。
- ✓ 営業車のEV化を進めていくが、電力原単位の影響を強く受けるので、再エネ調達も視野に入れている。

企業版2度目標の経営層への説明フォーマット案①

●まず何よりも、**リスクと機会**の分析が重要。

	リスク	機会（リターン）
自社への影響	●主要生産拠点のある国での排出規制 ●原材料調達に重大な変化 ●・・・	●省エネ・再エネによるエネルギーコスト削減 ●・・・
顧客や取引先との関係	●顧客（BtoB）の調達条件の厳格化 ●・・・	●自社製品の低炭素化による競争力及び収益の拡大 ●ESGの評価向上

企業版2度目標の経営層への説明フォーマット案②

事項	内容
削減目標と達成計画	<Scope 1・2> 目標：20XX年に201X年比で●%削減 計画：事業所の燃料転換、電化（再エネ） ※蓄電池を導入してBCPに <Scope 3> 目標：20XX年に201X年比で●%削減など 計画： ・ サプライヤーと連携し、容器包装の軽量化 ・ 省エネ製品研究開発投資を増加

なぜ、

**再エネ100%目標
(RE100)**

なのか？

世界の時価総額TOP20企業のうち、 半数超がRE100に加盟



出典: The Climate Group 提供資料にJapan-CLP事務局一部加筆

これからの再エネ省エネ蓄エネのイメージ

需要側での再・省・蓄エネ

SBT
RE100

高い再エネ利用
目標を掲げる企業

利用

利用

供給

ZEB

ZEH

地域エネルギー事業

ハウスメーカー

不動産

電気・ガス

地域金融機関

ICT関連企業

工場屋根・
遊休地

供給

需要地近接型



水力発電



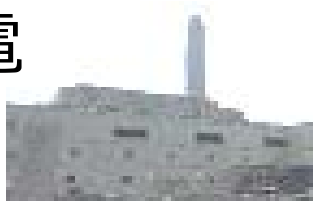
バイオマス発電



地熱発電



小水力



廃棄物
発電

供給

供給

洋上ウインドファーム

